



横地 民雄



高橋 八郎



井口 健司



奈良 むつ子



佐藤 紀八郎



佐藤 憲司



宮崎 稔

一区長

二区長

三区長

四区長

五区長

六区長

七区長

昨年から区長を務めさせて

いただいておりますが、就任早々に

これまでの生活様式が二変して

しまった新型コロナウイルス感

染症の拡大という未曾有の出

来事に直面してしまいました。

このため、自治会活動は勿

論のこと、日本中が各種イベ

ント等の中止を余儀なくされ

た一年でありました。

更に本年に入っても感染拡

大は続いており、四月には三

度目の非常事態宣言が四都府

県に発出され、又、多くの都

市に「まん延防止等重点措置」

が取られています。

佐倉市では五月上旬現在の

累積感染者数が八三〇人を超

える状況になっています。

さてこのような状況下であり

ますが、区としては本年度も

【防災防犯の観点から】

【環境整備の観点から】

【会員相互の親睦を図る観点から】

定期的な二号公園・十二号

公園の草刈りや清掃を実施

し、子供たちが安心して使

用・遊べる公園にしていく

【環境整備の観点から】

餅つき大会、桜花交換会、

などを実施していく

などの事業を予定していま

すが、このコロナ禍の時代に

これまでと同じ形で進めてい

くのは到底不可能と思われま

すので、会員皆様のお知恵な

どを借りながら、多少形は変

えてでも安心・安全を確保し

ながら何とかしてこれらの事

業が行われることを心から

願っています。

今何が

起きているのでしょうか

今もって昨年と何が変わっ

ているのでしょうか。

目に見えない感染症に恐れ

をなし、こんな時こそお互い

に笑顔で挨拶し気持ちを明る

く持って日々を過ごしましょ

う。

昨年度は、計画していた行

事等々全てが実施することな

く終わってしまいました。

本年度は、それを踏まえ背

伸びをすることなく、区の活

動は出来ることから実施し

ていきます。

【子供会と共同協調】

子供たちの笑顔・歓声これ

らに優るものはありません。

保護者を含めた各行事への

参加を通じ、交流の輪を拡

げていきます。

【防災・防犯意識の共有】

夜間パトロール・青パトに

よる巡回の継続、区防災訓

練等を含め会員個々の意識

を高め、安心・安全な営み

を目指します。

【環境美化の継続維持】

清掃・整備の実施で、地域

交流の場として安心して集

える・遊べる公園にしてい

きます。

【会員相互の親睦】

餅つき大会・新年親睦会

等々の行事を介し、皆さん

がいつまでも自治会員で良

かったと喜ばれるようにし

ていきます

自分のための自治会活動

自治会活動を始めた動機は、

「地域に貢献したい」と思っ

たからです。ところが地域の

ためだと思っただけで始めた

ら「僕がこれだけやってい

のに、なんでみんなは協力し

てくれないんだ」という不満

が出てきて、活動していても

楽しくなくなっていました。

そこで、「誰のためでも

ない、自分が住みやすい街に

するための活動なんだ」に意

識を切り替えると気持ちが楽

になり、区長の仕事も公園清

掃も防災活動もストレスなく

活動できるようになりました。

でも、やはり住民の皆様の協

力なしでは住み良い街づくり

はできません。

例えば防災活動について言

えば、誰でも先々、年齢相応

の災害弱者になります。そう

考えれば災害弱者の問題は他

人事ではなく、自分の問題で

もありません。防災活動は高

齢者だけの活動だけでは成り立

ちません。若い人達から高

齢者までを含めた人たちが自分

の問題だと考えて活動するこ

とが必要だと思えます。自分

のための自治会活動に協力を

よろしくお願いいたします。

どんな時でも元気に！

今年こそはとの思いで三年

度の計画を立てましたが、区

民の皆様と一堂に会しての活

動は今年も見通しがたちませ

ん。

皆様が元気に生活してらっ

しゃることが、何事にもかえ

がたい幸せです。

例年のように沢山の方々

一緒に活動できなくても、で

きることから少しずつ再開を

と考えています。

たとえば、よつば子供会資

源回収・防災器材点検は、昨

年度途中から再開しておりま

す。

公園清掃・防犯パトロール

は昨秋一時再開しましたが、

三密を避けるため、再度中止

としております。防災訓練等、

区民の皆様とご一緒での活動

再開の折には、ぜひご支援、

ご協力を賜りますよう宜しく

お願い申し上げます。

お互いが声を掛け合える

心豊かな地域づくり

新型コロナウイルスの猛威

が衰えていません。

二〇二一年(令和三年)は

世界の知恵を結集し、終息に

向けて、ワクチンとウイルス

との戦いになりそうです。

延期された「東京オリ

ピック」を開催する為に様々

な試みがなされています。

中志津自治会活動も何が出

来るか模索が続いています。

いまだ会員相互の親睦の為の

活動が行えない状況です。

人々の接触が制限される中、

声を掛け合える事が大切と思

われます。

区の活動としては、工夫を

しながら実施していきます。

公園清掃、青パト、防犯

ウォーク、資源回収、後期高

齢者福祉サポート、要望等

ワクチン接種が急がれます。

執行役員と共に、今年度もよ

ろしく御願致します。

今般、引字前区長の後任と

して、区長を務めさせて頂く

こととなりました。

コロナ禍の中において、六

区の自治会活動も制限される

事態になっていますが、今年

度も事業の一つである「防犯

標語」を募集し、多数寄せら

れた中から、五作品を優秀作

品として、区内各所に一年間

掲示することとしております。

【防犯標語】

☆守ろうよ

☆あの子もこの子もみんなの子

☆危ないよ

☆ながらスマホは事故のもと

☆高めよう

☆地域の絆とパトロール

☆パトロール

☆みんなを守る優しい目

☆犯罪も災害も

☆忘れた頃にやってくる

これらの作品は、六区は高

齢化率が高いとのことから、

防犯意識の醸成に役立ち、又、

子供達には大人が常に見守っ

てくれているという安心感を

抱いてくれる標語であると確

信しております。

新型コロナウイルス感染症が、

未だ収束の兆しが見えない中

であります。今後の六区の

活動計画として、公園駐車場

の清掃、防犯パトロール(現

在休止)、防災訓練、曆の会

の発行、子育て支援、支え合

い活動(現在中止)、子供会

資源回収等を予定しています。

安心安全な街づくりをして

まいりたいと思っております。

皆様のご協力をお願いします。

小さな支え合い

「また救急車だ。」

昼となく夜となく鳴り響く

音。近所で停まったりすると

心配になった経験をお持ちの

方も少なくないと思います。

コロナ禍で自治会の機能が

ストップしたり行事が中止に

なったりしました。今年も予

断は許されず同様のことが考

えられます。これではなんの

ための自治会だと思われるか

もしれません。

でも自治会は事業を行うた

めにあるのではないと思いま

す。昔の「向う三軒両隣」の

言葉のように、近所が気にし

合う関係になり、「お互い様

だから」と支え合うための

きっかけづくりをするとい

うことが、自治会には求められ

ているのだらうと思えます。

高齢化・少子化の今は健康

のことや日常の生活のことな

どを気にかけて合う「小さな支

え合い」が一層必要なのだろ

うと思えます。

事業の行く先が見えない今

七区では今年も気張らずに

ちよつとしたことにも気にし

合う身の丈に合ったことを

やっていきたいと思えます。

